

**平成30年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立五箇小学校長

平成30年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数と理科の3教科を実施しました。

国語と算数の2教科については、主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」に分けて実施しました。理科は、主として知識に関する問題と、主として活用に関する問題をあわせて実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	70.7%					○
国語B	54.7%					○
算数A	63.5%					○
算数B	51.5%					○
理科	60.3%					○

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	90.8%					○
書くこと	73.8%	○				
読むこと	74.0%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.0%					○

【考察】

- 「話すこと・聞くこと」では、相手や目的に応じて自分が伝えたいことを、具体例を挙げながら筋道を立てて話す問題で成果が見られました。
- 「書くこと」では、文章の構成の工夫を考える問題に課題が見られました。物語文や説明文の学習で優れた作品の文章構成の工夫や効果について確認し、作文の課題を通して、文章全体の構成を意識しながら書く指導を継続していきます。
- 「読むこと」では、目的に応じて必要な情報をとらえる問題で成果が見られました。国語科の授業の充実とともに、新聞を読んだり図書館を活用したりすることを通して、自分に必要な情報を適切に選択し、自分の持っている知識や情報などと結び付けて考えを深める指導をしていきます。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、日常生活で使われる慣用句の意味を考える問題や、文の中で正しい漢字を使う問題で成果が見られました。今後も、ことわざや慣用句集めや辞書の活用を通して、言葉の意味や使い方に対する関心を高めていく学習活動を取り入れていきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	64.6%					○
書くこと	45.6%					○
読むこと	50.8%					○

【考察】

- 「話すこと・聞くこと」では、計画的に話し合うための司会者の役割や、話し手の意図をとらえた聞き方に関する問題で適切な判断ができました。相手の意図をとらえながら聞き、自分の考えと比べることを通して自分の意見を深めていけるように、学校生活や授業の中で、話し合いの機会を多く設定していきます。
- 「書くこと」では、自分が推薦したい本を他の本と比較して良さが伝わるように工夫して書く問題で成果が見られました。一方、目的に応じて伝えたい内容を明確にして詳しく書くために、話を聞いて分かったことを取り入れて記述する問題に課題が見られました。語句や文章、言葉などを引用する際の注意点を知り、引用によって自分の考えを明確に伝える効果をとらえられるように指導していきます。

- 「読むこと」では、伝記の内容を自分の考えを明確にしながら的確に読む問題で成果が見られました。自分の考えとその理由を明らかにするために、読み取った内容から考えと理由を整理して書いたり話したりすることを継続していきます。

【算数A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%					○
量と測定	72.7%		○			
図形	56.9%		○			
数量関係	60.1%		○			

【考察】

- 「数と計算」では、1mの針金の重さを求める問題や、小数のわり算の意味を理解する問題で成果が見られました。一方、3桁の整数同士の大きさを比べる問題では、十進位取り記数法で表された数の大小の理解について課題が見られました。表や数直線を使いながら、数の大小や位ごとの数の構成の規則性に目を向けさせて指導していきます。
- 「量と測定」では、面積がそろっている2つのシートの混み具合をとらえる問題で課題が見られました。算数科の学習や課題を通して、一方の量がそろっているときの混み具合の求め方を図や式で説明し合う活動に取り組みながら指導していきます。
- 「図形」では、円の直径と円周の長さを理解する問題で課題が見られました。模型や図を活用しながら、式と図や言葉を用いて考えたり説明したりする活動を大事にして指導していきます。
- 「数量関係」では、長さや重さなど2つの数の関係を理解する問題で課題が見られました。2つの数の関係が、どんな場合でも成り立つかを考えたり話し合ったりして、決まりを見つける楽しさを味わう授業展開を大切にして指導します。

【算数B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	58.4%					○
量と測定	52.4%					○
図形	59.9%					○
数量関係	45.1%					○

【考察】

- 「数と計算」では、示された条件の下で日常生活の問題解決のために必要な情報を選択し、筋道を立てて考え、正しく処理する問題で成果が見られました。今後も授業や家庭学習において、取り組んだ課題の解決までの経過をきちんと書きとめ、誤りがあった際の原因もノートに記録することを指導していきます。

- 「量と測定」では、示された情報を解釈し、条件に合う時間を求める問題で成果が見られました。2つの数の関係を関連付けて考え、その理由を式や言葉で説明したり、ノートに記述したりできるように指導していきます。
- 「図形」では、図形の構成要素や性質をもとに条件に合った形や角を求める問題で成果が見られました。身の回りにある形に着目したり、パターンプロックを使った操作活動などを取り入れて、図形の構成や性質を体感することを重視していきます。
- 「数量関係」では、棒グラフと帯グラフから読み取った内容を適切に判断する問題で成果が見られました。一方、2つのメモに書かれた内容は棒グラフのどこに着目しているのか判断し記述する問題で課題が見られました。算数科以外でも、身近な事象を表した表やグラフを総数や変化など多角的に読み取る活動を取り入れ、読み取ったことを「何の資料から」「何が分かるか」を説明したり、それをノートに書いたりできるよう指導していきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
物質	59.8%					○
エネルギー	53.1%					○
生命	73.6%					○
地球	49.5%					○

【考 察】

- 「物質」では、海水と水道水を区別するために、異なる実験の結果を基に判断したり、食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選んだりする問題で成果が見られました。これからも実験の見通しから結果の考察までを順序立てて記録したり、実験が失敗した原因を考え話し合ったりする活動を大事に指導していきます。
- 「エネルギー」では、情報をもとに回路を流れる電流の向きや大きさについて結果を予想したり、目的の時間帯だけモーターを回すときの光電池の位置を適切に選んだりする問題で成果が見られました。基本的な知識の確認をするとともに身近な生活の中で実際に活用している電流のはたらきに目を向けさせて、理科への関心を高めていきます。
- 「生命」では、関節など人やほかの生き物の体のつくりに関する問題で成果が見られました。体のつくりと仕組みについて模型や図を使って確かめ、実際の体の動きと関連付けて指導していきます。
- 「地球」では、水のはたらきで土砂が積もることを表す言葉を選ぶ問題で成果が見られました。一方、水のはたらきで土砂が削られたり運ばれたりする問題には課題が見られました。雨や川の水が地面に及ぼす働きについて、身近なニュースや自然現象などに目を向けさせるだけでなく、なぜそのようなことが起きるかその原因について考えさせていきます。

平成30年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立五箇小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していきたいと思っております。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

1 普段（月～金）、授業以外にどのくらいの時間を学習していますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
		小 全 国	12.5	16.8	36.9	23.8	7.4
6 五箇小		0.0	11.1	66.7	22.2	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 本校が目標としている高学年児童の平日の家庭学習時間の「60分～80分」を多くの児童が達成しています。学校から出される宿題や課題等にきちんと取り組み、家庭学習時間の習慣化が図られていることがわかります。このことから、個々の児童が家庭学習に対して真面目に取り組もうと努力する姿や家族が学校と協力して児童の取り組みを支える体制ができていることがうかがえます。
- 「家庭学習スタンダード」を基本に、児童の実態に応じた宿題や課題等の工夫をし提示することで家庭学習の必要性を実感できるようにするとともに「メディアコントロールの取り組み」を地域で共有して推進することで、家庭学習の時間確保と充実に努めていきたいと考えます。

2 自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかとい えばしている	あまり していない	全く していない
		小 全 国	30.7	36.9	24.7
6 五箇小		61.1	16.7	22.2	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 「自分で計画を立てて勉強している」児童の割合が高く、本校児童の学習に対する意欲や意識の高さを感じます。
- 今後も、児童の学習の質・量をともに高められるように指導の充実に努めてまいります。具体的には、授業と関連付けながら調べ学習などに取り組みせたり、学習内容で自信が持てないところや分からないところを補う内容を家庭学習の中に位置付けたりすることで、個々の児童が、計画的に取り組めるように指導していきます。

3 普段（月～金）、授業以外に1日当たりどのくらいの時間、読書を読みますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小	全 国	7. 8	11. 5	21. 8	25. 1	14. 9	18. 7
6	五箇小	5. 6	5. 6	27. 8	38. 9	11. 1	5. 6

(単位 %)

【考 察】

- 平日に30分以上の読書をする割合は、全国平均と比べると、若干低い傾向にあります。しかし、学校から出される宿題や課題をきちんと行い、放課後の課外活動や帰宅後の習い事やスポ少などにも精一杯取り組んでいる児童の実態を考えれば、平日に短時間でも意識して読書を心掛けている姿が見られるといえます。
- 読書は、豊かな心・学力向上の基盤となる大事な要素ですので、今後も学校の重点として、「読書を楽しみ、進んで読書をする子ども」を育てていきます。
- 本校では、学校図書館の充実を図るとともに、年間を通して「朝の読書タイム」や「担任と保護者ボランティア、サポートティーチャーによる読み聞かせ」など、本に親しむ時間を日課表に位置付けています。家庭においても「メディアコントロールの取り組み」と関連させながら、読書をする時間を工夫して設けるなどの協力をお願いします。

4 自分には、よいところがあると思いますか。

		当てはまる	どちらかとい えば当て はまる	どちらかとい えば当て はまらない	当てはまら ない	その他	無回答
小	全 国	41. 2	42. 8	11. 6	4. 3	0. 1	0. 0
6	五箇小	50. 0	50. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0

(単位 %)

【考 察】

- 本校の児童は、自分の良さを認識する割合が高い傾向にあります。
- 本校は、伝統である『三つのちかい』の合言葉「ひとつ みんなで仲良く勉強します」「ふたつ 力を合わせてがんばります」「みつつ 自分も人も大事にします」の意味を大切に指導しています。これからも、『自分も他の人も大事にする』児童を育てていきます。また、学校と家庭が共に、児童の日常生活での努力や思いやりを持った行動を認め価値づけていくことで、児童が自らの個性を発揮し、自信を持って生活できるようにしていきたいと考えています。